

手作りくす玉を作り続けて6年

真壁町古城の相田さん

真壁町古城在住の相田千代子さん(77歳)は6年前から、児童たちの交通安全を願い毎年、真壁小学校の新入学児童に折り紙で作ったくす玉のお守りを贈っています。

平成24年度の入学式を前に、相田さんは同校を訪れ、1年間かけて作った色鮮やかな、くす玉100個を梅井校長先生に手渡しました。

「くす玉づくりは、細かい作業だけですが、子どもたちのお守りにしてあげれば。」と相田さん。梅井校長先生は「新入学児童63人につづつ配付いたします。」と話していました。



茨城県河川課の富山ダム砂防室長(写真右)から、最優秀賞と国土交通事務次官賞が大坪志帆さん(写真左)に手渡されました。

大坪志帆さん(大和中)が

作文で国土交通事務次官賞

平成23年度「茨城県土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」作文(中学生)の部で、大和中学校1年生(受賞当時)の大坪志帆さんは最優秀賞と国土交通事務次官賞を受賞しました。

同コンクールは、国土交通省が6月の土砂災害防止月間に全国の小・中学生に土砂災害やその防止についての理解と関心を深めてもらうために実施しているものです。

『防災で最も大切なことは?』と題した大坪さんの作品は、お母さんから聞いた「加波山で実施した人口土石流実験」の話から防災の大切さを考え作文にしました。



相田千代子さん(写真左)から手作りくす玉のお守りを受け取る真壁小の梅井校長先生(写真右)

岩瀬LC(ライオンズクラブ)が、

坂戸小で「薬物乱用防止教室」

岩瀬ライオンズクラブが、坂戸小学校で6年生児童とその保護者を対象に「薬物乱用防止教室」を開催しました。

この教室は、薬物乱用問題を身近な問題としてとらえ、自分で身を守る方法を理解するなど、薬物についての正しい知識を身につけてもらうとうと、岩瀬ライオンズクラブ会員の方が講師となり行われました。

参加した児童は、「薬物がこんなに恐ろしいものなんだと改めて知った。もし誘われたら、勇気を出して断りたい。」と話していました。



岩瀬ライオンズクラブが坂戸小の6年生児童とその保護者を前に行った「薬物乱用防止教室」の様子



巣箱づくりに参加した児童たちは、慣れない手つきで金槌などを扱い巣箱を完成させました。

岩瀬RC(ロータリークラブ)が

南飯田小で野鳥の巣箱づくり体験学習

岩瀬ロータリークラブの職業奉仕委員会(秋山昇委員長)が、地域奉仕活動の一環として、南飯田小学校で野鳥の巣箱づくりの体験学習指導を行いました。

体験したのは、愛鳥モデル校でもある同校の5・6年生児童70人。県の環境アドバイザーを講師に迎え、野鳥の巣作りなどの講演の後、児童たちは一生懸命巣箱づくりに取り組みました。

秋山委員長は、ものづくりを体験する機会がない児童たちに経験をさせることで、『ものづくり日本』の子どもとしての意識を持ってほしい。」と話していました。